

平成25年版

21世紀の第一勸信

今、第一勸信は



この冊子に関しますご意見ご質問は、
下記の電話でお受けしております。

03-3358-9452

第一勸信のホームページ

<http://www.daiichikanshin.com/>

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-13 第一勸業信用組合 経営企画部



心豊かな明日のために 実り多い明日のために 確かな明日のために



第一勸業信用組合

はじめに

皆さまには、日頃から私ども第一勧業信用組合をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで当組合は、本年5月をもちまして創立48周年を迎えることができました。これもひとえに、皆さまのご愛顧の賜物とあらためて感謝申し上げます。

当組合の沿革は大正10年までさかのぼりますが、昭和40年に東京都23区一円を営業区域とする地域信用組合として発足以来、地域の皆さまにお役に立つ一番身近な金融機関をめざしてまいりました。おかげさまで、地域の数多くの皆さまからお取引をいただけるようになり、地域金融機関として着実に成長することができました。

当組合は地域密着とお客さまへのサービス向上を経営の柱に掲げ業務推進に努めてまいりました。本年度も「Face to Face」を基本として、できるだけ多くのお客さまにお会いし、お客さまの声をお聞きし、お客さまのニーズにお応えすべく、一層のサービス向上をめざしてまいります。

この小冊子は、第一勧業信用組合をより深くご理解いただくために、当組合のディスクロージャー誌「第一勧業信用組合の現況」を簡潔にまとめたものです。引き続き私ども第一勧業信用組合をご利用いただくうえで、ご参考にしていただければ幸いです。

なにとぞ、今後とも一層のご愛顧をたまわりますよう心よりお願い申し上げます。

目次

はじめに	1	5. 貸出金の状況	7.8
1. 経営理念・経営ビジョン	2	6. 不良債権の状況	9.10
2. 決算推移	3.4	7. みずほフィナンシャルグループとの関係	11
3. 普通出資金・組合員数の推移	5	8. 地域とのふれあい	12
4. 預金・積金の状況	6	営業店舗一覧	13.14

1 経営理念・経営ビジョン

Q

第一勧信とは、どのような金融機関ですか？

A

当組合は、東京都内全域を営業地区とし、地域の事業者や個人の皆さまが組合員となって、お互いに助け合い、発展していくという相互扶助の理念に基づき運営されている協同組織金融機関です。

私どもの店舗のある都内各地域では、数多くの事業所が生産活動・販売活動等を続けております。また、その事業所で働く多くの経営者・従業員の皆さまと、その地域で生活する多数の個人の方々がいらっしゃいます。こうした地域社会の皆さまに一番身近な金融機関として、「皆さまのさまざまな金融ニーズに的確にお応えし心の触れ合うお付き合いをしていくこと、皆さまの事業の発展や生活の質の向上に貢献すること、地域社会の一員として地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでいくこと、そして皆さまとともに繁栄していくこと」が、私どもの使命であり役割であると考えております。

このような社会的使命と役割を果たすために、私どもは経営理念・経営ビジョンを掲げ、その実現を目指して全職員が日々努力を重ねております。

経営理念

地域とのふれあいを大切にし、中小企業および個人のお客さまのニーズにお応えする最高品質の金融サービスを提供し、皆さまと共に栄えます。

経営ビジョン

1. 小規模事業金融と個人金融の専門金融機関としての地位を確立します。
2. 環境変化に的確に対応できる信用組合を目指します。
3. すべての支店が信頼度において地域トップの支店となります。

2 決算推移

Q

今期の第一勧信の決算はどうでしたか？

A

当組合は、「お客さまを第一に考えた金融サービス」の実現を目指しながら、業容の充実に努めてまいりました。平成25年3月末の総預金残高は3,201億円と前年度を11億円上回ったものの、総貸出残高は、不良債権の処理を進めたことなどから2,207億円と前年度を52億円下回る結果となりました。損益につきましては、人件費および物件費等の経費を引き続き削減させましたが、貸出金利息の減少などから、金融機関の本業の収益である実質業務純益は23億円と前年度を2億円下回りました。当期利益は、貸出金の償却・引当費用が前年度比減少したことから、2億円と前年度を若干上回りました。また、平成25年3月末の自己資本比率は7.09%と前年度を0.02%上回り、引き続き国内基準4%を上回る健全な水準を維持しております。

資産の有効活用指標であるROA(修正コア業務純益)は0.69%、コストに関する経営指標であるOHR(経費率)は62.92%となりました。両指標共に業界全国平均に比較して良好な水準を保っており、効率的な経営体制を維持しております。

■自己資本比率

一般的に企業が総資産に対して自分自身のお金をどの程度保有しているかを示す指標で、比率が高いほど安全性が高いといえます。信用組合の場合、出資金などの自己資本額を貸出金などの資産にリスクウェイトで調整したリスクアセット等で割って算出します。

■ROA【総資産業務純益率】

総資産をどれだけ効率よく使用して利益をあげているかを示す指標です。金融機関のROAは、自己資本比率規制により資産を拡大させることなく収益を向上させることが望まれていることから注目されています。

■OHR【業務粗利益経費率】

一定の業務粗利益を稼ぐためのにどれだけ経費をかけたかを示す指標で、値が小さいほど効率性が高いことを示しています。近年、コスト削減を中心としたリストラにより収益力を高めることが金融機関の重要な経営課題となっており、コスト効率の尺度として重視されています。なお、地域に密着した営業を行っている信用組合のOHRは、大手銀行に比べて高いのが一般的です。



■当組合の決算推移(主要経営指標)

(単位:百万円)

利益および自己資本額	平成22年度	平成23年度	平成24年度
経常収益	8,441	7,690	7,304
実質業務純益	2,613	2,523	2,313
業務純益	2,508	2,051	2,417
経常利益	▲5,452	145	227
当期純利益	▲5,953	118	225
自己資本額	11,035	11,104	11,123

(単位:%)

諸比率	平成22年度	平成23年度	平成24年度
自己資本比率	6.62	7.07	7.09
ROA(総資産業務純益率)	0.78	0.76	0.69
OHR(業務粗利益経費率)	62.65	61.63	62.92

(単位:億円)

残高	平成22年度	平成23年度	平成24年度
預金積金残高	3,164	3,190	3,201
貸出金残高	2,371	2,259	2,207
有価証券残高	216	253	214
総資産残高	3,300	3,322	3,333
純資産残高	75	77	78
リスク管理債権残高	191	214	209

(単位:人)

職員数	平成22年度	平成23年度	平成24年度
男性	250	227	224
女性	113	108	110
合計	363	335	334

3 普通出資金・組合員数の推移

Q 普通出資金と組合員数の推移はどのようになっていますか？

A 普通出資金は56百万円減少しましたが、組合員数は193名増加し45,430名となりました。このように、当組合は多くの組合員の皆さまに支えられています。

■ 普通出資金・組合員数の推移



4 預金・積金の状況

Q 預金の状況は、どのようになっていますか？

A 預金残高全体は11億円増加し、3,201億円となりました。

■ 預金の推移



■ 預金者別残高

(単位: 億円/%)

	平成23年度末		平成24年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
個人	2,515	78.8	2,493	77.8
法人	674	21.1	707	22.0
一般法人	635	19.9	652	20.3
金融機関	0	0.0	1	0.0
公金	38	1.2	53	1.6
合計	3,190	100.0	3,201	100.0

Q 預金新商品の販売実績を教えてください。

A 当組合は皆さまのニーズにあわせ、預金新商品を発売しております。平成24年5月から平成24年9月まで懸賞金付定期預金「DKCハッピーチャンス定期」を、平成24年10月から平成25年3月まで懸賞金付定期預金「DKCスペシャルチャンス定期」を発売し、販売実績は合計81億円となりました。

今後も引き続き皆さまのニーズにお応えできるよう魅力ある新商品を発売してまいります。

5 貸出金の状況

Q 貸出金の状況は、どのようになっていますか？

A 今年も、地域の中小企業や個人の皆さまのニーズに幅広くお応えすべく、事業性資金、住宅ローン、アパートローンを積極的に推進してまいりました。しかしながら、全体の貸出金残高は、不良債権の処理を進めたことなどから、52億円減少し2,207億円となりました。



貸出先は地元の中小企業や個人のお客さまで、ご融資を通し地域貢献に取り組んでおります。

Q 貸出について、どのような取り組みを行っていますか？

A 当組合は、お客さまにより質の高いサービスを提供させていただくために商品の充実に取り組んでおります。平成24年6月より、法人役員専用ローン「サポート」の取り扱いを開始いたしました。

今後も多様化する皆さまのニーズにお応えできるよう引き続き商品の充実およびサービスのさらなる向上に努めてまいります。

Q 平成25年3月31日に期限が到来した「中小企業者等金融円滑化法」への対応はどうなっていますか？

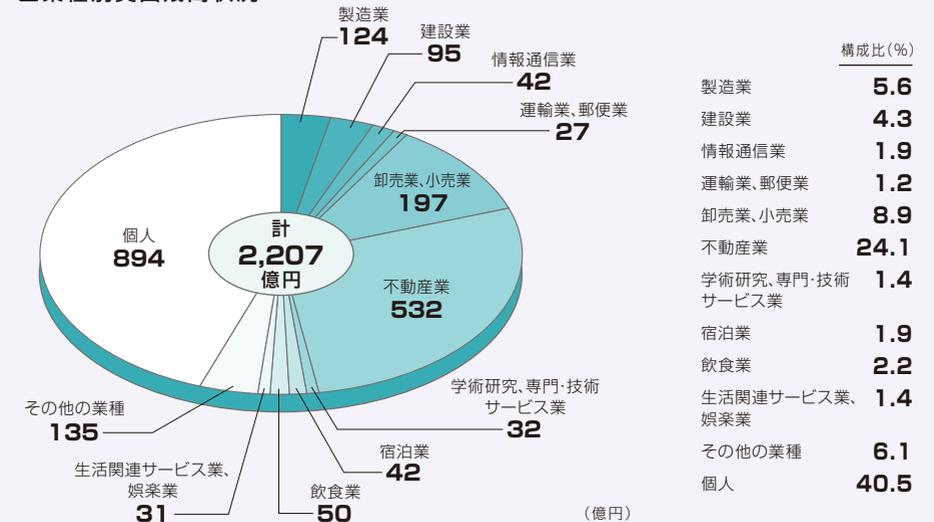
A 当組合では、「貸付条件の変更等の申込に対する対応方針」などを定め、全役職員がその方針を遵守し、適切かつ丁寧に対応することに努めてまいりました。平成25年3月31日に「中小企業等金融円滑化法」の期限が到来しましたが、従来と変わらずお客さまからのご返済等に関するご相談に適切かつ丁寧に対応するよう努めております。

■ 貸出金と住宅ローンの推移

(単位:億円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
貸出金	2,627	2,514	2,371	2,259	2,207
住宅ローン	786	788	769	737	726

■ 業種別貸出残高状況



6 不良債権の状況

Q

不良債権の処理状況はどのようになっていますか？

A

当組合は貸出資産の健全性を維持するため、適切な償却・引当を実施しております。平成24年度につきましても、取引先企業の業績などを適正に把握したうえで、厳正な自己査定の結果を反映させております。その結果、不良債権比率は9.61%となりましたが、不良債権の74.17%が担保保証等および貸倒引当金により保全されています。

Q

取引先への支援状況はどのようになっていますか？

A

当組合は本支店が一体となり、取引先の事業再生支援に取り組んでおります。本部で特定のお取引先を選定し、経営改善計画策定の支援をしたり、その進捗をフォローさせていただいております。今年度は、新たに選定した22先のお取引先の経営改善・事業再生支援に取り組みました。

■不良債権残高および不良債権比率の推移(金融再生法による開示債権)

(単位:百万円/%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
不良債権残高	21,131	21,462	19,509	21,722	21,275
不良債権比率	8.01%	8.50%	8.19%	9.58%	9.61%

■金融再生法による開示債権

(単位:百万円)

債権の区分	平成23年度	平成24年度	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	3,535	2,146	▲1,389
危険債権	10,291	12,747	2,456
要管理債権	7,894	6,381	▲1,513
不良債権合計	21,722	21,275	▲447
正常債権	204,830	200,038	▲4,792
合計	226,552	221,314	▲5,238

*上記金額は、貸出金残高に未収利息・債務保証見返・仮払金(保証債務履行口)を含みます。

■金融再生法による開示債権の保全額

(単位:百万円)

債権の区分	債権額 A	担保保証等 B	貸倒引当金 C	保全額 D=B+C	保全率 D/A	貸倒引当金 引当率 C/(A-B)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	2,146	1,920	226	2,146	100.00%	100.00%
危険債権	12,747	6,203	4,017	10,221	80.18%	61.40%
要管理債権	6,381	2,064	1,348	3,412	53.48%	31.23%
不良債権合計	21,275	10,188	5,592	15,780	74.17%	50.44%

■リスク管理債権

(単位:百万円)

債権の区分	平成23年度	平成24年度	増減
破綻先債権	942	476	▲466
延滞債権	12,572	14,105	1,533
3カ月以上延滞債権	1,824	1,638	▲186
貸出条件緩和債権	6,070	4,743	▲1,327
合計	21,410	20,964	▲446

7 みずほフィナンシャルグループとの関係

Q 第一勧信とみずほフィナンシャルグループの関係は？

A 当組合は、日本勧業銀行の職域組合(大正10年設立)が母体となり、昭和40年5月に、地域信用組合「日本勧業信用組合」としてスタートいたしました。昭和46年には、日本勧業銀行と第一銀行が合併し第一勧業銀行が誕生したことにともない、名称を「第一勧業信用組合」に改称し現在に至っております。

このように銀行直系の信用組合として発足した沿革から、第一勧業銀行と緊密な関係を保ってきた長い歴史があります。また、平成14年3月には第一勧業銀行とその親密会社から優先出資を受け、直接的な出資関係もある金融機関となっております。

その第一勧業銀行は、富士銀行・日本興業銀行とともにみずほフィナンシャルグループを結成し、みずほ銀行およびみずほコーポレート銀行に再編されましたが、当組合との関係は従来同様変更はありません。

なお、当組合の名称は、すでに42年におよぶ長い間、地域の皆さまに愛着を持っていただいておりますことから、第一勧業銀行がみずほ銀行等となりましたが、現在のところ私どもが名称を変更するという事は考えておりません。

当組合は、第一勧業銀行の直系信組として発足した経緯を大切にしつつも、地域金融機関としての特色を発揮し、地元組合員の皆さまのご繁栄のため、今後とも自主独立の経営に専念してまいります。

8 地域とのふれあい

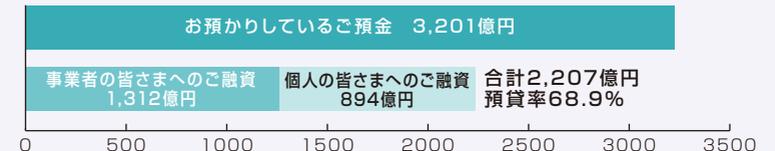
Q 第一勧信の地域貢献はどのようなものですか？

A 「皆さまからお預かりした大切な資金は、すべて地元へ還元する」という地域密着型金融の理念のもと、制度融資の積極的な推進や事業者の皆さま向けの事業性ローンの取り扱いなど、ご融資を通じた地域貢献に取り組んでいます。その結果、当組合の預貸率は68.9%と前期実績には及びませんでした。信用組合平均52.5%を大きく上回り、高水準を維持しております。

なお、当組合は、厳格な管理を行いながら円滑な資金供給に努め、地域社会の発展に貢献することを経営方針としております。

【預貸率】

預金残高(譲渡性預金を含む)に対する貸出金残高の比率のことで、お客さまからお預かりした預金のうち貸出に向けられる割合を示すものです。

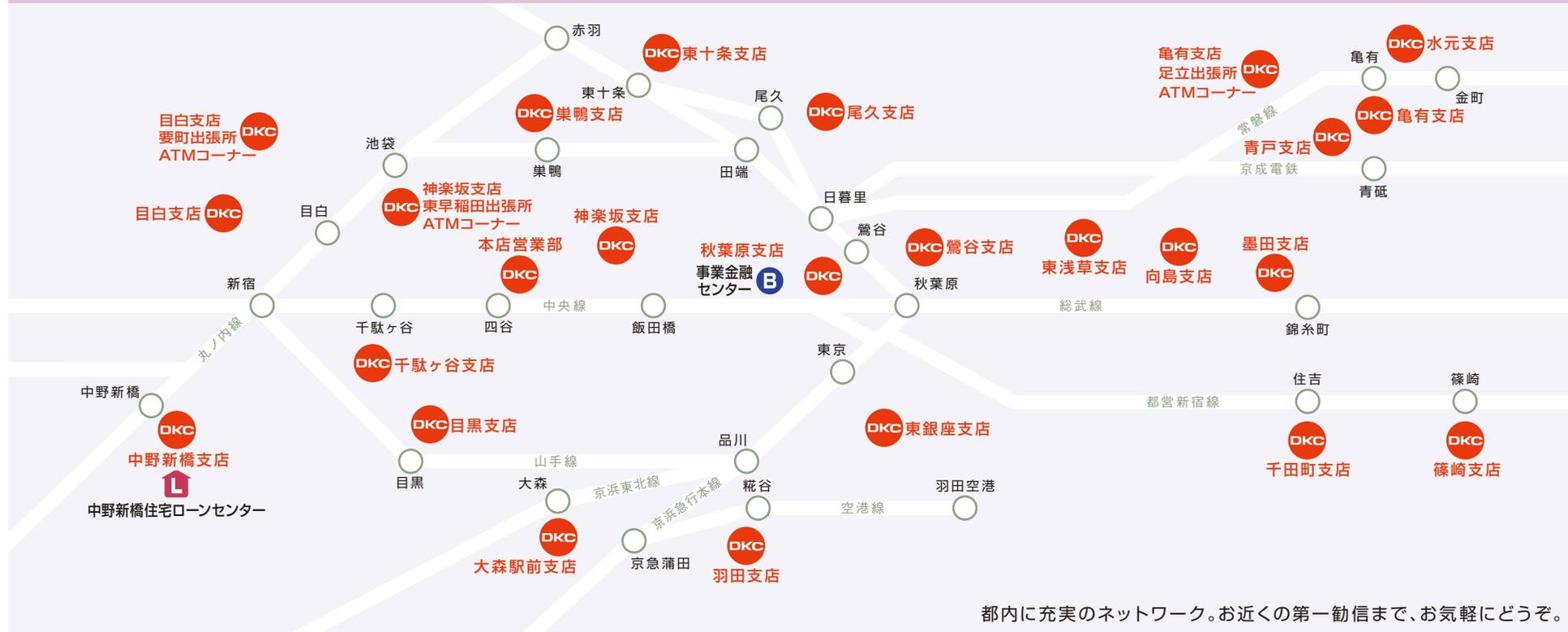


■ 預貸率の推移(末残)

(単位:%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
当組合	85.2	79.5	74.9	70.8	68.9
信用組合平均	57.8	56.5	54.9	53.5	52.5

営業店舗一覽



都内に充実のネットワーク。お近くの第一勧信まで、お気軽にどうぞ。

本店営業部	新宿区四谷2-13 (四谷3丁目交差点新宿通り東寄り)	TEL03-3359-3781(代)
神楽坂支店	新宿区神楽坂5-6 (神楽坂通り商店街)	TEL03-3269-3111(代)
墨田支店	墨田区石原4-24-5 (蔵前橋通り石原4丁目)	TEL03-3624-6241(代)
巢鴨支店	豊島区巢鴨2-4-2 (JR 巢鴨駅北口)	TEL03-3918-0401(代)
鶯谷支店	台東区根岸3-4-5 (JR 鶯谷駅前)	TEL03-3874-8621(代)
尾久支店	荒川区西尾久1-21-15 (小台通り)	TEL03-3893-7205(代)
千田町支店	江東区千田5-9 (四ツ目通り千田バス停前)	TEL03-3615-6381(代)
向島支店	墨田区向島2-13-12 (向島2丁目バス停隣)	TEL03-3624-5721(代)
亀有支店	葛飾区亀有3-11-12 (亀有駅南口中央商店街通り)	TEL03-3602-9161(代)
目白支店	新宿区下落合3-12-18 (JR目白駅西側目白通り)	TEL03-3953-4411(代)
東浅草支店	台東区今戸2-15-4 (今戸バス停前)	TEL03-3876-0241(代)
羽田支店	大田区南蒲田3-3-5 (環八通り靴谷駅前交差点そば)	TEL03-3743-5351(代)
東十条支店	北区東十条3-13-10 (東十条商店街通り)	TEL03-3913-7151(代)
目黒支店	品川区上大崎3-2-1 (JR目黒駅東口前)	TEL03-3445-0721(代)
東銀座支店	中央区銀座6-14-8 (東京メトロ東銀座駅昭和通り沿い)	TEL03-3543-6921(代)

大森駅前支店	品川区南大井6-27-25 (JR大森駅東口広場前)	TEL03-3766-5321(代)
秋葉原支店	千代田区外神田3-6-4 (妻恋坂交差点そば)	TEL03-3253-4801(代)
B 事業金融センター	千代田区外神田3-6-4 (秋葉原支店2F)	TEL03-5209-7687(代)
青戸支店	葛飾区青戸3-40-3 (京成青砥駅入口バス停そば)	TEL03-3602-1171(代)
水元支店	葛飾区水元3-22-26 (水元中央通り)	TEL03-3627-5931(代)
中野新橋支店	中野区弥生町2-20-2 (弥生町2丁目交差点そば)	TEL03-3372-2121(代)
L 中野新橋住宅ローンセンター		
千駄ヶ谷支店	渋谷区千駄ヶ谷4-22-2 (千駄ヶ谷大通り商店街)	TEL03-3497-9371(代)
篠崎支店	江戸川区篠崎町7-21-12 (都営新宿線篠崎駅そば)	TEL03-3678-6991(代)
本 部	新宿区四谷2-13 (四谷3丁目交差点新宿通り東寄り)	TEL03-3358-0811(代)
神楽坂支店東早稲田出張所 ATMコーナー	新宿区早稲田鶴巻町110 (鶴巻小学校前交差点そば)	
亀有支店足立出張所 ATMコーナー	足立区東和2-24-15 (東和2丁目バス停前)	
目白支店要町出張所 ATMコーナー	豊島区要町2-13-10 (要町通り東京メトロ千川駅そば)	